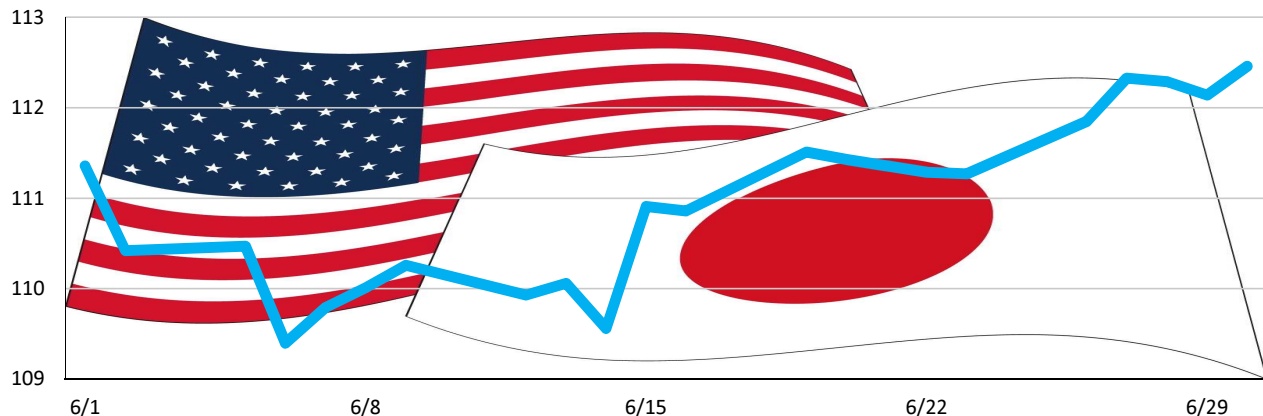


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 6月のドル円相場は、109円前半～112円後半で推移。トランプ大統領弾劾の可能性やイギリスで起きたテロ等によるリスク回避の動きが続いていたが、FOMCを控えている中で発表された各米国経済指標により一喜一憂する動きとなった。その後、月中に注目されたFOMCにおいて年内にあと一回の利上げ実施の見通しが継続されたことから、それまでの一進一退の動きが一転ドル買いの流れに傾くこととなった。月末にかけては主要な経済指標は多くなかったものの株高と相まってじりじりとドル高の動きが継続していくこととなった。なお8日に投開票された英国総選挙において与党保守党が過半数を割り敗れるという結果となりポンドやユーロが大きく動くこととなったが、ドル円にはそれほど大きな影響は与えられなかった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開:** 5月から続いていたドル売りもFOMCをきっかけとして徐々にドル買いの流れに変化してきた。さらに言えば市場の関心がトランプ大統領の弾劾の可能性や地政学リスクよりも各国の金融政策にシフトしてきたことも要因として挙げられる。執筆時点では判明していないものの、20日には日銀金融政策決定会合とECB政策金利発表が控えており各国通貨単独の動きも当然だが、他通貨から波及する動きに注意を置いておくべきだろう。またミサイル実験を頻繁に行っている北朝鮮情勢も米国がすぐに行動を起こすとは思えないが、地政学リスクとして頭にはおいておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
7 / 26 (水)	17 : 30	GB	英GDP速報値	☆☆☆☆
7 / 27 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
7 / 28 (金)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
8 / 1 (火)	18 : 00	EU	欧州GDP速報値	☆☆☆☆
8 / 2 (水)	21 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
8 / 3 (木)	20 : 00	GB	英中央銀行政策金利	☆☆☆☆
8 / 4 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆